

第622号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2021年1月15日
発行責任者 喬木村公民館長
市 瀬 徹
編集責任者 公民館編集部
仲 田 久 志
印刷 龍共印刷株式会社

令和三年 公民館新年の挨拶

新年明けましておめでと
うございます。村民の皆様
には、日頃から喬木村公民
館の事業にご理解とご協力
をいただき、誠にありがと
うございます。

昨年新型コロナに振り
回された一年でした。二月
に感染者が確認され、タレ
ントの志村けんさん、岡江
久美子さんが相次いで急
逝。非常事態宣言、飲食店
等の営業自粛と営業時間の
短縮、イベントの開催制限、
そして、学校の全国一斉休
校、人の動きが大きく変わ
りました。徐々に新型コロナ
ウイルスの実態が分かっ
てくると、「新しい生活様
式」という感染リスクを押
し

さえての生活が当たり前
になり、マスクをする習慣が
なかった私も今はマスクな
しの生活は考えられなくな
りました。行動範囲も極端
に減り、車の距離メータは
昨年の半分も進みませんで
した。
公民館事業も思うように
実施できず、上半期はイベ
ントはもちろん会議もすべ
て中止になってしまいました。
十月頃からは感染予防
対策を徹底して徐々に活動
ができるようになってきま
した。満足な活動ができ
るまでには至っていません。
公民館は「事業を通し
て人と人をつなぎ、地域コ
ミュニティづくり、地域

たかぎスポーツクラブ
今年も障がい者スポーツ
にも取り組みます

明けましておめでと
うございます！本年も宜しくお
願い致します。

昨年はなにもかも、コロ
ナウイルス感染症によっ
て、思うような生活も送れ
ず、本当に大変な一年にな
りました。たかぎスポーツ
クラブもコロナウイルス感
染症の影響を受け、昨年は
五月の半ばまで、活動を完
全に休止しました。その
後、村の施設使用が徐々に
緩和されるのに合わせて活
動を開始しました。本来は
四月から新年を迎え、賑
やかなスタートとなるはず



が、静かな始まりとなっ
てしましました。この一年、
どうなってしまうのかと
心配になりましたが、人が
人を呼ぶという言葉がある
ように、会員のみならず
お友達を誘ってきてくれ
た「ホームページを見て

の方々の生きがいづくりに
寄与する」ことが大事だと
考えていますが、人が集
まない。ことは公民館に
とっては致命的で、コロナ
禍の公民館事業のあり方を
本当に考えさせられた一年
でした。多くの方に参加し
ていただき、活発に
活動が展開されるこ
とも大事ですが、今
は細々でもいいので
活動を止めない、工
夫して続けることが
大事だと考えていま
す。

新型コロナウイルスは収ま
るところか益々勢い
を増し、大変な状況
になっていきますが、
今年もよろしくお願
いします

「今年もよろしくお願
いします」
今年も、多くの人が笑顔
になれるクラブにしてい
きたいと思っています。

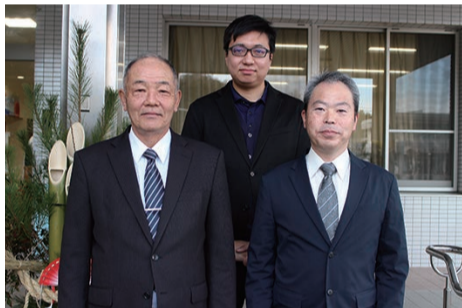
来年度、たかぎスポー
ツクラブでは重点テーマのひ
とつに「障がい者スポー
ツの普及」をあげています。
パラリンピックも開催され
る予定で、障がい者スポー
ツへの関心も高まると思
います。なかなか身近に感
じることができなかった、障
がい者スポーツが身近に
感じられるようになりま
す。また、初めの一歩階

です。どんなものかいい
のか、どんなものがたかぎ
スポーツクラブでできるの
かわかりませんが、いろ
んな方面の関係者の方にご
意見をいただきながら、こ
の地域に合った障がい者ス
ポーツが始められるとい
いなあと思っています。



今年も、多くの人が笑顔
になれるクラブにしてい
きたいと思っています。

今年もよろしくお願
いします



今年もよろしくお願
いします

頑張っています

新型コロナウイルス感染症対策による、
厳しい制限と感染予防が行われた大会に
おいて、素晴らしい成績が届けました。

内山心結さん 全国高校選抜弓道大会出場 団体戦全国五位

阿鼻焔牛原にお住いの内
山心結さんは飯田女子高弓
道部の選手として、十二月
二十五日二十六日に岐阜市
で行われた、全国高校選抜
弓道大会で、団体の部五位
という成績を収めました。
また、内山さんは南信大会
で個人の部でも優勝しまし
た。

戦では、悔しい思いと、申
し訳ない気持ちだったので
一生懸命練習した。目標と
していた予選突破と、ベス
ト八入りを達成できてとて
も嬉しかった。弓道は思っ
たより難しかったけれど、
当たると気持ちがいいの
で、やっつけて楽しい。是非
皆さんにも知ってほし
い。」と話されました。
今回予選、決勝戦でも四
射中四的の中の皆中を連発し

また、内山さんは中学ま
で吹奏楽部で、高校で初め
て弓道を学んだそうです。
内山さんのお父さんのお二
人と、お母さんのお父さん
も弓道もやっていたと聞
き、縁を感じました。



南信大会
団体(Aチーム)三位
飯伊地区高等学校弓道大会
個人 優勝
団体(Aチーム)三位
全国大会 女子団体決勝
トーナメント進出 五位
飯田長姫ライオンズクラブ
女子個人の部 優勝
女子団体の部 三位

喬木中学校剣道部 南信大会優勝

令和二年十一月十四日伊
那中学校で行われた新人戦
南信大会において、喬木中
学校剣道部女子が団体戦で
優勝しました。

まいりましたが、四人で勝ち
優勝しました。試合の結果
は次のとおりです。今後も
活躍を期待します。

新人戦南信大会 決勝ト
ーナメント一回戦 喬木
三〇岡谷東部二回戦
喬木二一辰野決勝戦
喬木二一伊那東部



令和二年度 喬木村運動公園樹木剪定工事のお知らせ

村では運動公園樹木剪定
工事を行います。期間は
令和三年二月四日～二月
二十六日まで(土日を除
く)、時間は午前七時から
午後五時半までです。工事

期間中、運動公園グランド
内及びランニングコースに
工事車両(高所作業車等)
が駐車することがあります
のでご注意ください。
工事期間中、村民の皆様

にはご迷惑をおかけいたし
ますが、ご理解ご協力を
よろしくお願い致します。
お問い合わせ
喬木村教育委員会社会教育係
☎三三三二二〇二

あの時

大学、短大の授業は、首
都圏を中心に対面を避けオ
ンライン授業が続いてい
る。このような状況の中、
大学生活に疑問や不安を感
じる学生が多いという。ア
ルバイト収入を学費や生活
費に充てようと考えていた
地方出身の学生の中には、
退学を考えている者も多い
ようだ。政府は、年末年始
に向けて「勝負の三週間」
と国民に自粛を求めたが効
果はなく、クリスマス前
はすべての県で感染者が確
認されるようになり、感染
は間違いなく広がってい
る。

病院も悲鳴を上げてい
る。自分が感染してしま
うリスクにさらされながら働
く皆さんのストレスは想像
を絶する。家族への感染を
心配して家にも帰らず、車
で寝泊まりして働き続けて
いる方もいるという。さら
に、医療従事者への差別や
偏見も収まらず、離職する
医療従事者が後を絶たな
い。使命感で懸命に医療に
従事してくれている方々
を、様々な面で守らなけれ
ば医療が崩壊すると私は思
う。

「GOTOトラベル」
が全国一斉に一時停止と
なった。その首相会見後に
忘年会に参加して批判を受
けた。内閣支持率も大幅に下
がった。愛知県、奈良県で
は議員が大人数で懇親会を
開催して批判を浴びてい
る。「範を示すべき政治家
には自浄力がないのか!」
と怒りを感じる。苦しむ人
たちの思いに寄り添えな
い、ズレている政治家がな
んと多いのか。今こそ政治
のリーダーシップで感染を
抑え込むべき時ではないの
か。(館長)



木下美桜 (氏乗)

平成21年生 12歳  
私は、今年で十二歳になります。そこで私は、今年目標を三つ決めました。

一つ目の目標は、何事にもチャレンジする事です。この先もやる事がどんどんふえていきますが、何事にも取り組みチャレンジをしていきたいです。

二つ目の目標は野球です。野球は、二年生の終わりごろから始めました。始めたばかりのころは、ルールもあまり分からなくて、ボールも遠くに投げることが出来ませんでした。でも四年生になって、ルールも分かってくるので、投げられる距離も増えてきました。あきらめずに努力をすれば出来たので、これからもがんばりたいです。

三つ目は本をたくさん読むことです。本を読むことが少なくない、たとえば本に書いてある昔の歴史が良く分からなかったり、長い

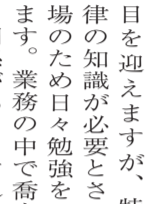


鞍馬大輝 (町)

平成9年生 24歳  
私は、平成九年に阿島で生まれ、高校を卒業するまでは喬木村で過ごしました。高校を卒業後は名古屋に進学し、愛知県警察が飯田市の役所が就職先に迷いましたが、地元で働きたいという思いがあったため、喬木村へと帰ってきました。

現在は、飯田市役所で都市計画関係や建築確認審査等の業務を主にこなしています。就職して今年で四年目を迎えますが、特に法律の知識が必要とされる職場のため日々勉強をしています。業務の中で喬木村にも関係があるとすればリアア中央幹線の開通についてかと思えます。令和元年十二月に策定されたリアア駅周辺整備基本設計「飯田・リアア駅前空間デザイン

ノート」を基に作成されたイメージ動画がYouTubeにて公開されているのを見て、ぜひ御覧下さい。



木下寛司 (富田)

昭和48年生 48歳  
今年年男で四十八歳になりました。人生百年時代の、折り返しとなります。今までを振り返ると、家

コロナ禍にころ柿白く化粧する市瀬 准子  
いづこのたれが食しくれるや

お洒落して出掛けることも自粛せり 木下 寿子  
エプロン姿が板につく日々

秒針の音にせかされ立ち上がる 内山 和子  
短日の午後菜洗い休憩

何処より入り来しものか 元島 康子  
蟋蟀の小さき声の耳に残りぬ

夜の明けを覚めて早出出勤す 関島 春子  
霧の堤防急ぎし思い出

今年抱負ですが、今、世界はコロナ禍にあり旅行外出を控えなければならぬ状況にあります。そんな中だからこそ勉強をしなければならぬと感じています。社会人になって、より一層新しい知識を身に付けることの重要さに気がきました。今年地方自治法、建築基準法、都市計画法等日々の業務に関係している法律、又、外国語も若い内に覚えておきたいです。

本年も目標を立て、それに向かって努力し達成できるように、日々成長していきたいと思えます。

残り人生半分、知らない世界を知り、興味をもった事に挑戦していきたいと思えます。

今年、「還暦」と呼ばれる三度目の成人式を迎えます。まずは、健康で還暦を迎えられたことに、何より感謝をしているところでございます。

五十九年を振り返るには、余りにも波瀾万丈あり過ぎてチョット難しいので、ここ一年を振り返ってみますと、一年前には想像だにできないニューノーマルな一年となりました。様々な事業や行事は軒並み縮小や中止を余儀なくされ、ご近所やお組合の方々と顔を合わせる機会も減ってしまいました。

そんな中、区会議員をさせていただいているお陰で、広く地区の方々と出会う機会も増



小川原美智穂 (北)

昭和36年生 60歳  
今年、「還暦」と呼ばれる三度目の成人式を迎えます。まずは、健康で還暦を迎えられたことに、何より感謝をしているところでございます。

五十九年を振り返るには、余りにも波瀾万丈あり過ぎてチョット難しいので、ここ一年を振り返ってみますと、一年前には想像だにできないニューノーマルな一年となりました。様々な事業や行事は軒並み縮小や中止を余儀なくされ、ご近所やお組合の方々と顔を合わせる機会も減ってしまいました。

そんな中、区会議員をさせていただいているお陰で、広く地区の方々と出会う機会も増

え、このコロナ禍で何かできる事はないかと模索する中、喬木村誌と出会い意外とハマってしまい読みあさり、阿島区の歴史を少しだけですが垣間見ることができました。

赤ちゃんに還り、始めの二歩となる今年、四年目となる筋トレを継続し、「健全な精神は健全な肉体に宿る」のごとくサボらず通い、更なる資格取得をめざし、続けて行けたら良いなと漠然と考えております。

また、今年区会事務局長の任をいただきましたので、自分の得意分野の数字を活かし、スムーズな区会運営ができますよう、微力ながら精一杯務めさせていただきます。

昭和24年生 72歳  
十二月の半ばの寒日の夕方、我が家の玄関のチャイムがピンポンと鳴りました。宅配かなと思いつつドアを開けたところ、そこには仲田編集長がいました。「前澤さん、来年年男だつて。これ書いてくれる」とお歳暮ならぬ原稿用紙を渡されました。逃れられない感じだったので、素直に引き受けました。

六度目の年男を迎え、もうすぐ後期高齢者です。昭和二十四年一月七日、阿島町下弁天会所の斜め向かいの家で、五人姉弟の末っ子の長男として生まれました。所謂団塊の世代です。母が頑張ってくれました。お陰で今日の私がいます。その頃は、戦争をして負けた日本はとても貧しく、皆食事に困っていたように思います。でも子供が沢山いて皆元気でした。町通

りも家が連なっていて、空き地・空家はなく、殆どの家に子供が居て、皆とよく遊び、今でも顔と名前を憶えています。

数年前四十五年勤めた会社を退職、三十年ぶりに喬木に戻ってきました。世の中も人も様変わりして、右も左も分からず、地域の皆様のお世話になりました。

毎日食事を作ってくれたかみさんのお陰で、体重が十キロ減り、今の所は健康です。かみさんは段々丸くなっており、夫婦足したら変わらなかつた、なんて思っています。

年寄りには健康であることが、一番世の中の役に立つと思っております。今は、ジムへ通って体力を維持し、畑をお借りして、見よう見まねで野菜を作り、時々ゴルフやマレットの仲間と混ぜて頂き、心静かに暮らしております。

目標はPPK(ピンピンコロリ)です。

昭和12年生 84歳  
八十四歳を迎え、何か書けと言われても身体と共に頭も弱くなり、何を書いたら良いのか分かりませんが、八十四年の思い出をふり返ってみたいと思えます。

私が物心ついた時は戦時中でした。小学校二年生の時には名古屋の空襲で空が真っ赤になり、ここが攻められたらどうしようかと恐ろしくなっていました。終戦を迎えた後も食糧難は続き、弁当を明けるとさつまいもが一個だけという日も

何回もありました。

私は高校卒業後、父の経営する木材会社に勤めました。仕事では氏乗の山に入り、地元の人たちには大変お世話になりました。

東京オリンピックの年には一人で果樹園をやっていた母が五十三歳で亡くなってしまいました。半年後には妻を迎えることができませんでした。働き者の妻はいろいろの栽培に力を入れ、土地柄のおかげか味も良く、収入も上がっていました。そんな時、妻が病魔に襲われてうつ病を発症し亡くなってしまいました。

私は家庭には恵まれないと思っておりましたが、人生は苦しいことばかりではなく、今では内孫五人に囲まれ楽しい余生を送っています。

後日吉川さんにお話を伺うと、「辛い出来事が人を豊かにする。辛いことをユーモアにすることが年寄りの役目」。また、「恨むことはない。恨むなら戦争を恨む。三〇万人が戦争で亡くなった。死ぬことが国のためという考えを一番掃き除けなければならぬ」と話されていました。

行事が中止を余儀なくされ、本来なら思い出に残るページが空白となっていることは残念でなりません。

しかしながら時間の経過は変わることなく刻まれています。私たちは不平不満を口にすることはなく、できることを、ただ前向きに、諦めることとなく、やり続けるしかありません。新しい生活様式に順応し、輝かしい未来へしっかりと詰まった最高の準備の年としたいと思います。

何回もありました。

私は高校卒業後、父の経営する木材会社に勤めました。仕事では氏乗の山に入り、地元の人たちには大変お世話になりました。

東京オリンピックの年には一人で果樹園をやっていた母が五十三歳で亡くなってしまいました。半年後には妻を迎えることができませんでした。働き者の妻はいろいろの栽培に力を入れ、土地柄のおかげか味も良く、収入も上がっていました。そんな時、妻が病魔に襲われてうつ病を発症し亡くなってしまいました。

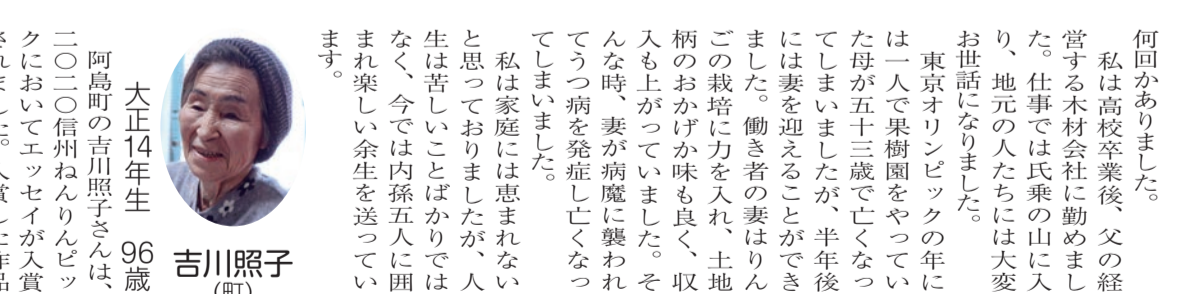
私は家庭には恵まれないと思っておりましたが、人生は苦しいことばかりではなく、今では内孫五人に囲まれ楽しい余生を送っています。

後日吉川さんにお話を伺うと、「辛い出来事が人を豊かにする。辛いことをユーモアにすることが年寄りの役目」。また、「恨むことはない。恨むなら戦争を恨む。三〇万人が戦争で亡くなった。死ぬことが国のためという考えを一番掃き除けなければならぬ」と話されていました。

行事が中止を余儀なくされ、本来なら思い出に残るページが空白となっていることは残念でなりません。

しかしながら時間の経過は変わることなく刻まれています。私たちは不平不満を口にすることはなく、できることを、ただ前向きに、諦めることとなく、やり続けるしかありません。新しい生活様式に順応し、輝かしい未来へしっかりと詰まった最高の準備の年としたいと思います。

何回もありました。



から奇跡的に生き残った吉川さんは、故郷に戻り、自分なりに我が子や身近な友人に戦争体験を話してきました。数年前、長崎を訪れた吉川さんは、永井隆博士の如己堂に立ち寄り、永井博士の生き様と心の叫びに触れて、「数少ない戦争体験者として、もっと戦争の悲惨さや恐ろしさを伝えなくてはいけない」と強く思うようになりました。それ以来、小学校で子どもたちに話して聞かせたり、インタビューに答えたりと、戦争語り部としての活動を続けています。

エッセイの最後にはこう書かれています。「戦争体験者がほとんどいなくなってしまう。今だからこそ、血の通った言葉で伝える活動に価値があるのだと信じ、戦争のない、平和な世界を守るために、命尽きるまで語り継いでいくつもりです。」

後日吉川さんにお話を伺うと、「辛い出来事が人を豊かにする。辛いことをユーモアにすることが年寄りの役目」。また、「恨むことはない。恨むなら戦争を恨む。三〇万人が戦争で亡くなった。死ぬことが国のためという考えを一番掃き除けなければならぬ」と話されていました。

行事が中止を余儀なくされ、本来なら思い出に残るページが空白となっていることは残念でなりません。

しかしながら時間の経過は変わることなく刻まれています。私たちは不平不満を口にすることはなく、できることを、ただ前向きに、諦めることとなく、やり続けるしかありません。新しい生活様式に順応し、輝かしい未来へしっかりと詰まった最高の準備の年としたいと思います。

何回もありました。

私は高校卒業後、父の経営する木材会社に勤めました。仕事では氏乗の山に入り、地元の人たちには大変お世話になりました。

東京オリンピックの年には一人で果樹園をやっていた母が五十三歳で亡くなってしまいました。半年後には妻を迎えることができませんでした。働き者の妻はいろいろの栽培に力を入れ、土地柄のおかげか味も良く、収入も上がっていました。そんな時、妻が病魔に襲われてうつ病を発症し亡くなってしまいました。

私は家庭には恵まれないと思っておりましたが、人生は苦しいことばかりではなく、今では内孫五人に囲まれ楽しい余生を送っています。

後日吉川さんにお話を伺うと、「辛い出来事が人を豊かにする。辛いことをユーモアにすることが年寄りの役目」。また、「恨むことはない。恨むなら戦争を恨む。三〇万人が戦争で亡くなった。死ぬことが国のためという考えを一番掃き除けなければならぬ」と話されていました。

行事が中止を余儀なくされ、本来なら思い出に残るページが空白となっていることは残念でなりません。

しかしながら時間の経過は変わることなく刻まれています。私たちは不平不満を口にすることはなく、できることを、ただ前向きに、諦めることとなく、やり続けるしかありません。新しい生活様式に順応し、輝かしい未来へしっかりと詰まった最高の準備の年としたいと思います。

師走歌会詠草

たかぎ短歌会

段丘を拭うがごとく霧晴れて 木林 睦枝  
丘の上の街冬陽明るし

松茸が出そうで出ずに早や紅葉 内山 貴子  
今年の秋の楽しみ失くす

頂きし取り立てのキャベツずしりと 小椋 りよ  
堅くしまりて朝露滴る

ハリス氏は魅力あふれる美しさ 田中 妙子  
次期大統領の片腕ならん

曖昧にしてはならない問題を 知久 美子  
コロナのニュースに影が薄れる

文もスラスラ読めないかもしれないからです。三つの目標をがんばって守ってきたいです。

今年抱負ですが、今、世界はコロナ禍にあり旅行外出を控えなければならぬ状況にあります。そんな中だからこそ勉強をしなければならぬと感じています。社会人になって、より一層新しい知識を身に付けることの重要さに気がきました。今年地方自治法、建築基準法、都市計画法等日々の業務に関係している法律、又、外国語も若い内に覚えておきたいです。

本年も目標を立て、それに向かって努力し達成できるように、日々成長していきたいと思えます。

残り人生半分、知らない世界を知り、興味をもった事に挑戦していきたいと思えます。

今年、「還暦」と呼ばれる三度目の成人式を迎えます。まずは、健康で還暦を迎えられたことに、何より感謝をしているところでございます。

五十九年を振り返るには、余りにも波瀾万丈あり過ぎてチョット難しいので、ここ一年を振り返ってみますと、一年前には想像だにできないニューノーマルな一年となりました。様々な事業や行事は軒並み縮小や中止を余儀なくされ、ご近所やお組合の方々と顔を合わせる機会も減ってしまいました。

そんな中、区会議員をさせていただいているお陰で、広く地区の方々と出会う機会も増

え、このコロナ禍で何かできる事はないかと模索する中、喬木村誌と出会い意外とハマってしまい読みあさり、阿島区の歴史を少しだけですが垣間見ることができました。

赤ちゃんに還り、始めの二歩となる今年、四年目となる筋トレを継続し、「健全な精神は健全な肉体に宿る」のごとくサボらず通い、更なる資格取得をめざし、続けて行けたら良いなと漠然と考えております。

また、今年区会事務局長の任をいただきましたので、自分の得意分野の数字を活かし、スムーズな区会運営ができますよう、微力ながら精一杯務めさせていただきます。

昭和24年生 72歳  
十二月の半ばの寒日の夕方、我が家の玄関のチャイムがピンポンと鳴りました。宅配かなと思いつつドアを開けたところ、そこには仲田編集長がいました。「前澤さん、来年年男だつて。これ書いてくれる」とお歳暮ならぬ原稿用紙を渡されました。逃れられない感じだったので、素直に引き受けました。

六度目の年男を迎え、もうすぐ後期高齢者です。昭和二十四年一月七日、阿島町下弁天会所の斜め向かいの家で、五人姉弟の末っ子の長男として生まれました。所謂団塊の世代です。母が頑張ってくれました。お陰で今日の私がいます。その頃は、戦争をして負けた日本はとても貧しく、皆食事に困っていたように思います。でも子供が沢山いて皆元気でした。町通

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年の干支は丑年です。丑年は我慢や耐える、これから発展する前触れ、芽が出る年とも言われています。昨年からの新型コロナウイルス感染症により今までの当たり前前の生活が一変し、何かと自衛や我慢を強いられる事が多くなっています。様々な